

報道解禁:3月18日(木)11時

令和3年3月12日(金)

連絡先: 全国応援村実行委員会事務局
(担当: 池上)

e-mail: contact-form@ouen-mura.com

応援村 HP: <https://ouen-mura.homes>



みんなの応援村「スーパーマンプロジェクト」実施並びに プロジェクト応援ソング及びロゴマークの決定について (お知らせ)

コロナ禍、長期入院中の子どもたちは、大好きな家族や友達と会える時間がとても少なくなりました。病院の面会制限・手術延期・きょうだい児の預かり中止等、みんなの応援村(旧コロナと闘う応援村)には、全国から様々な声が寄せられています。

そんな子どもたちの「えがお」を取り戻すため、子どもたちが日々の治療や生活へのモチベーションを高めるため、小児ガン・心臓病・難病等と闘う子どもたちを「スーパーマン(ウーマン)」にするプロジェクト「スーパーマンプロジェクト」を実施いたします。

記

1 背景・目的:

病気等による手術・治療等で長期入院をしている子どもたち、寛解状態にある子どもたちは、本人の力はもちろん、周囲(親御さんを始め医療関係者、学校関係者、兄弟姉妹、友人等)から沢山の応援(力)を受け取りながら、一日一日を過ごしています。

普段は「応援される側」にいる子どもが、「応援する側」にまわり、誰かのために何か挑戦する、誰かを助ける、そのような機会を子どもが得ることによって、子ども自身が、これまで気付かなかった自分の可能性に気付いたり、自信を付けたり、日々の治療や生活へのモチベーションを高めたりすることを目的としています。

*プロジェクト名は、象徴言語として「スーパーマン」に統一しますが、取組の中身は子どもたちの希望に応じて「スーパーマン・スーパーウーマン」の両方を使用します。

2 実施スケジュール(予定含む):

- ・令和3年1月 プロジェクト先行実施(1人目)
- ・令和3年3~5月 プロジェクト先行実施(2~5人目)
- ・令和3年6月 スーパーマンプロジェクト・ガイドライン作成
- ・令和3年7月 地域・病院等を拡大して実施
- ・令和3年11月 スーパーマン(ウーマン)サミット開催(Web開催)

3 プロジェクト応援ソング: 「きみのために Superman」(フジテレビ番組『スモール3』テーマ曲)

4 ロゴマーク: 図1(制作: ビームス)



図1：スーパーマンプロジェクトロゴマーク（左）、シンボルマーク（右）

5 プロジェクトメンバーのコメント：

●松任谷正隆さん（音楽プロデューサー・応援村実行委員）

長期入院や苦しんでいる子どもたちが、スーパーマンになって誰かを応援する。そのための運動を日本中に広めたいと考えています。誰かを応援したいという輪が広がっていくことを願っています。

●小山薫堂さん（放送作家・応援村実行委員）

「子どもたちが、誰かを応援する。」その機運を作り、チャンスを提供するプロジェクトです。きっと、子どもたちは誰かの役に立つことにより、自分の中に幸せを感じるはずです。皆さんも、是非このプロジェクトにご協力いただけると嬉しいです。

●中井美穂さん（アナウンサー・応援村実行委員）

誰かを応援すると不思議と自分も元気になってきます。病气と戦い頑張っている子どもたちが誰かを応援することで違ったものが見えてきたらいいなと思います。

6 その他：

- (1) ロゴマーク決定の様子は、ビームス公式YouTube「BEAMSテレビ」内「BEAMS JAPAN会議」で公開します（公開開始：3月18日（木）11時）。 https://youtu.be/4zB3F3mWb_o
※プロジェクトメンバーメッセージ <https://youtu.be/Slz-5kvZeVY>

- (2) スーパーマンプロジェクト情報（「みんなの応援村」公式ホームページ内）
<https://ouen-mura.homes/superman-project>

- (3) 「みんなの応援村」について

- ・実行委員長：鈴木康友浜松市長、実行委員長代理：鈴木英敬三重県知事
- ・実行委員会委員数：43人（うち、自治体首長26人） ※令和3年3月1日現在
- ・各種プロジェクト参加自治体数：61 ※令和3年3月1日現在